



かわせみ通信

4月号
2022年4月
Vol.152

発行所 株式会社 東海テクノ 本社/三重県四日市市午起2丁目4番18号 (〒510-0023)
TEL.059-332-5122 (代) <https://www.tokai-techno.co.jp>

未来を拓く 企業訪問

2050年カーボンニュートラル達成まであと約30年。地球の持続可能性は企業としても取り組まざるを得ない目標となってきました。企業責任というだけでなく、企業価値向上など、その方向性は多岐に渡ります。当社がお取引いただいている企業様の表からは見えてこない独自の取り組みについて、インタビューした内容をご紹介します、取り組み事例をお届けいたします。

大和ハウス工業株式会社様

【インタビュー部署】
環境エネルギー事業本部・環境部

◆主な事業内容
創業1955年の住宅や商業施設、物流施設などを主軸とした建築総合メーカー。国際イニシアティブにいち早く参画し、RE100・EP100などの脱炭素化に向けて、取り組んでいる。

合い言葉は「環境も、成長もあきらめない」

目指すのは、「**環境と企業収益の両立**」
合い言葉は、「**環境も、成長もあきらめない**」

2つの危機感

- 気候変動の深刻化
 - 気象災害の頻発化、激甚化
 - 住まいの安全・安心が脅かされ続けている、マイホームの夢も持てない
- 脱炭素革命の加速
 - 世界は「脱炭素」に大きく舵
 - 世界でビジネスを拡大するには、世界標準の取り組みが必要

2018年に国際イニシアティブに参画。国内においては、再エネを中心に注目されているが、EP100(エネルギー効率2倍)・RE100(再エネ100%)それぞれに目標を掲げた。まずは省エネの推進として、自社施設のZEB(ネットゼロエネルギービル)化を行い、その再エネ利用率を上げるために発電事業へも取り組んでいる。
※2021年3月現在、全国377ヶ所、合計427MWの再エネ発電を実施。

再エネ利用率を高めるために

メガソーラー事業も進め、グループで発電したエネルギーを再エネ価値として非化石証書取引市場を通じ、実質再エネ100%電力としてオフィス・展示場・工場で使用している。当初、電力単価にはグループ内でも差があった。これをグループ内の電力小売事業者へ切り替えることで、再エネ価値を付加しても安価にすることもでき、特に小規模オフィスなどはそういったケースが多く、切り替えが早く進められた。

事業を通じて感じること

再エネ価値を別に購入するのだとすれば、先行してやるべきことは、使う電力を抑えることだろう。製造業を中心に省エネは進んできており、更にそこへEP100の掲げる目標を上乗せすることはかなり厳しいという声を聞く。再エネに対して、各社の環境に対する意識は変わってきており、屋根上に太陽光発電を設けることは当たり前だと感覚になってきている。電力価格の高騰もあり、省エネ・再エネをうまく組み合わせることが必要だと思う。

インタビューの感想

2022年3月時点で国内RE100参加企業66社、一方EP100は3社と大きく開きがある。RE100を進めることは重要だが、単純に企業コストが上がることからEP100を並行して取り組むことが重要と言われたことに感銘を受けた。また非化石証書の売買行為のみで再エネに貢献しているとも言えず、世の中に再エネを増やす「追加性」を持って、再エネ発電へ投資することが、評価されていくべき企業になり始めていると新たな視点に気づくことができた。



教えて！ かわせみ先生

水素燃料ボイラーを導入した場合、大防法での扱いは？

低炭素に向けた省エネの次世代ボイラーとして、水素燃料ボイラーが注目されているね。ボイラーの燃料は重油やガスが主流だけれど、これからは、アンモニアや水素、バイオマス燃料が普及していくだろうね。そういった次世代を見据え、改正大気汚染防止法が今年10月より施行され、ボイラーの規模要件から「伝熱面積」が撤廃されるんだよ。改正後は「燃料の燃焼能力が重油換算1時間当たり50リットル以上であること」の要件のみとなるんだ。重油換算の燃料の種類には「液体・ガス・固体」があり、水素燃料の場合は、現時点では「ガス燃料」として扱われるよ。また三重県条例では「伝熱面積が8㎡以上10㎡未満」という施設の対象規模要件が入っているんだけれど、三重県へ確認してみたところ、「今後10月に向けて専門家を交えて見直し・検討していく」という回答だったよ。※今後新しい情報があればお伝えしていきます。

測ってみよう！探検隊 Vol.17

ひと工夫で能力アップ？ 局所排気改善

フレキシブル型ダクトなどの局所排気装置を、そのままの設備で能力UPする方法として、フランジを付ける方法があります。理論上ではわかっていても、実際の効果を確認したことがなかったため、掃除機のパイプを使って再現し、風速計(アネモマスター)で流速を測ってみました。ダクト開口部にフランジを取り付けただけで約1.5倍の流速UPとなり、段ボール製のフランジでもしっかり吸引効果が確認できました。かつ、安定した風速を得られた結果でもあったことから、お手軽な改善対策として有用かもしれません。

社員プチコラム

大市 奈穂子 (営業本部 CS営業部 本社CSグループ)

PDFをPCやスマホで読むのが苦手で、紙に出力するものの勿体無さから片面2ページの両面印刷で結局読み辛い、という負の連鎖に陥っていた私が一年半前に購入したのが電子ペーパーQUADERNO。モノクロですがPDFなら何でも読み、専用ペンで書き込みもできるし勿論読みやすい。軽さと書き心地が特に気に入っていて、手帳やノートにもなるので、仕事に趣味の弓道にと毎日使っています。気づけば自宅のプリンタインクも紙もほとんど減らず、シュレッダーの手間とゴミも削減。これもSDGs?と自己満足しています。

編集後記

寒い冬を終え、春が到来！なのに毎日目を覆いたくなるようなニュースばかりで、物価高、燃料高騰などますます影響は大きくなるばかりでしょうね。SDGsもようやく浸透してきましたが、今回のインタビューでは、再エネ・省エネなど、次の一歩へ進めていく必要性を聞かせていただきました。今の状況下もあり、大変強く印象に残る内容になりました。(みっちー)